学園だより
太　白　山
（令和8年度　第2号）

宮城県さわらび学園
〒９８２―０２１５
仙台市太白区旗立二丁目４番１号
ＴＥＬ：022-245-0333
ＦＡＸ：022-245-0515
https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/sawarabi/
学園ホームページもご覧ください。

副園長からごあいさつ

副園長　岡本

子どもたちが学園に入った目的はそれぞれ違いますが、着実に成長していると感じます。成長の速さはそれぞれ違いますが、どの児もみんな昨日より今日、今日より明日と成長しています。学園で生活する期間はだいたい１年半くらいだと思いますが、そのわずかな期間で入所目的を達成するためには時には辛い、苦しい、と思うこともあるかもしれません。しかし、それを乗り越えた先にあるのは自分に対する誇り、達成感、自信だと思います。さわらび学園で頑張れたということを退園後も誇りと思えるように、一歩一歩進んで行ってほしいと思います。

一方で、さわらび学園で学んできたことに、責任も感じてほしいと思います。例えば、今年、学園の野球部は全国大会でベスト８になりました。夏の猛暑の中も練習に取り組んできた結果だと思います。これから学園野球部は「ベスト８」の責任やプライドを持って、野球に取り組んでいくことが求められます。

プロ野球読売ジャイアンツのスローガンに「GIANTS PRIDE」というのがあります。「GIANTS PRIDE」は、選手たちがジャイアンツの一員としての誇りを持ち、常に最高のパフォーマンスを追求するという意志を示しているそうです。

我がさわらび学園の子どもたちも「さわらびプライド」を胸に、退園後を見据えて一日一日を大事に過ごしてほしいと思います。

「優しい青葉寮」

青葉寮長　日下

「優しい青葉寮」との寮目標のとおり、個性的ながらも優しさに溢れたメンバーが揃っている青葉寮です。誰かということでなく、皆が働き、お手伝いをして、感謝を伝え合う雰囲気があります。また笑いが絶えない寮です。

先日の野外活動の部屋での時間は、全員一緒に遊び、笑いの絶えない時間を過ごしました。昨年度までのメンバーが文化として残してくれたものをベースに、作業をしっかりとやりきる力、自習に集中する力、スポーツに全力で取り組む力がある集団になっています。基盤があるからこそ、課題に向き合うことができる児童と職員の集団となっています。時にいじりいじられ笑い合い、時に真剣にぶつかり合う。担当の先生と児童の絆が、青葉寮の強みであると思います。







「引き継ぎを意識した支援」

家族支援担当　有我

今年度も家庭支援専門相談員を務めることになりました。現在、さわらび学園には１８名の児童が入所していますが、そのうち約半数が社会的養護を必要としています。そのほとんどが、自分の生い立ちについて正しく理解しないまま、これまで生活してきています。

退園後の人生において、保護者との繋がりを少しでも感じ、新たな一歩を踏み出すことを目的に、児童からのニーズに応じて、児童相談所や保護者の協力の基、ライフストーリーワーク（生い立ち整理）の一つとして生い立ち整理を実施しています。成果はすぐには出ない取り組みではありますが、退園先に引き継ぐことに意義があると思い、実践しているところです。児童と一緒に人生の地図を辿っていきたいと思います。

地区大会を終えて

さわらび学園野球部監督　永沢



令和８年度のさわらび学園野球部は１１人で活動を始めました。少人数ではありましたが、部員一人ひとりがお互いを意識しながら切磋琢磨し、地区野球大会に向けて技術を磨いてきました。

そして迎えた６月下旬の地区大会。初日は山形県代表の朝日学園、福島県代表の福島学園の両チームに勝利し、決勝戦に進出することができました。しかし、決勝戦はあいにくの雨天による中止。抽選による順位決定の結果、さわらび学園は準優勝となりました。

私は子どもたちが準優勝という素晴らしい成績を収めながらも、決勝戦で試合が出来なかった悔しさや、「もし試合が出来ていれば、自分たちは優勝する未来もあったのでは？」といった感情が起こることを心配しておりました。そんな中、大会から数日たった練習では、主将が中心となり、チーム一丸となって８月に行われる全国大会に向けてさらなる研鑽を重ねる姿が見られました。

今大会を通じて、野球にひたむきに努力する児童の姿や、受け止め難い結果を飲み込み、前を向く児童の姿を見ることのできたかけがえのない大会となりました。また、本県での開催ということもあり、大会運営に携わった多くの方々のご協力に加え、保護者をはじめとする多くの関係者の皆様からあたたかい応援の言葉を頂いた大会となりました。







自然に触れ、仲間と協力し、成長を感じた二日間

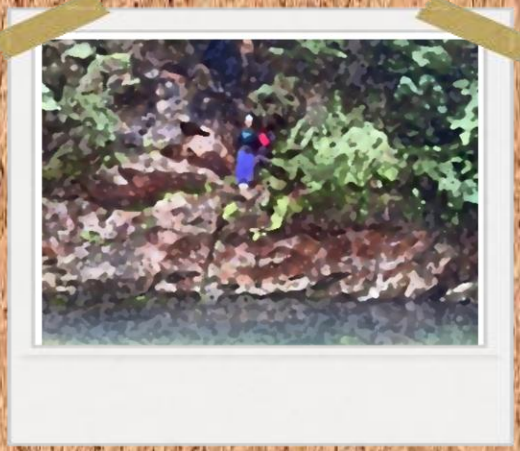
野外活動担当　小池

７月３０日と３１日の２日間、花山青少年自然の家で１泊２日の野外活動を行いました。自然に触れ合うこと、施設内でルールを守って生活すること、仲間と協力して野外炊飯に取り組むことを目的に活動しました。

初日は、雨の影響で予定していた沢遊びを中止し、「そとドコ？オリエンテーリング」に取り組みました。沢遊びを楽しみにしていた児童たちでしたが、気持ちを切り替え、友達と協力しながら活動を楽しむことができました。２日目は沢遊びを行い、全員で沢に入り、水の冷たさや自然の豊かさを感じることができました。

また、活動を支えてくださった指導員の方々や、自分たちが使った場所への感謝の気持ちから、「来たときよりもきれいにして帰ろう」と進んで片付けや清掃に取り組む姿も見られました。さらに、活動を通して感じたことや心に残ったことを、自分の言葉で発表することもでき、一人一人の成長を感じる場面となりました。

今回の活動で育んだ、自然を感じる心、仲間と協力する力、そして周囲への感謝の気持ちを、これからの学校生活や日々の生活でも大切にしてほしいと思います。自然の中で感じたことを自分の言葉で表現した経験を生かし、豊かな感性を育みながら、自信をもって思いを伝えられる人へと成長していってほしいと願っています。





夏の学園行事

夏祭り子ども会





子ども会の児童４名が中心となり、夏祭りを企画・運営しました。当日は各寮に分かれて出し物を行い、男子寮ではボール輪投げやストラックアウト、女子寮では射的を実施しました。児童たちは、参加する児童に楽しんでもらえるよう工夫しながら準備や運営に取り組み、会場は笑顔や歓声で賑わいました。

夕方からは、みんなでバーベキューを楽しみ、最後には花火も行いました。児童同士で交流を深めながら、夏の思い出に残る楽しいひとときを過ごすことができました。

全国野球大会壮行式



全国野球大会に出場する男子寮の選手たちを応援するため、壮行式を行いました。女子寮の児童が中心となり、ダンスや劇を披露して選手たちを応援しました。さらに、みんなで「キツネダンス」を一緒に踊り、会場を盛り上げました。最後には、女子寮の児童から選手一人ひとりへ、心を込めて手作りのマスコットのお守りを渡しました。選手たちへの応援の気持ちが詰まった、温かい壮行式となりました。







地区野球大会・全国野球大会
結果報告



全国ベスト8の快挙達成！ 地区大会から全国へと続く激闘の記録
チーム一丸となって駆け抜けた、感動の大会結果をお知らせします。

地区大会（準優勝 ＆ 全国出場決定！）

１回戦： １８ ― ４ （勝利）
２回戦： ８ ― １ （勝利）
決勝戦： 雨天によるくじ引きで惜敗（準優勝）

〇悪天候に泣く場面もありましたが、見事に全国大会への切符を勝ち取りました！

全国野球大会（全国ベスト８！）

１回戦： １２ ― ９ （勝利）
２回戦： １ ― １８ （敗戦）

〇全国の大舞台でも強豪を相手に粘り強く戦い抜き、「ベスト８」に輝きました。

◇地区大会の悔しさをバネに全国へ挑み、大舞台で堂々とした戦いを見せてくれた選手たちに、大きな拍手をお願いいたします。沢山の応援、本当にありがとうございました！

編集後記

暑い日が続く中でも、行事や日々の生活に一生懸命取り組む児童たちの姿を見て、私自身も頑張ろうという気持ちになりました。今回、広報誌の作成を通して、普段とは違った角度から児童たちの様子を見ることができ、改めて一人ひとりの頑張りを感じることができました。これから秋の行事も続くので、児童たちと一緒にさまざまな経験をしていけたらと思います！！

今後の行事予定

10/9	終業式（秋休み）
10/15	始業式
10/30	学園祭
10/30	ハロウィン子ども会